

シティプロモーションを継続的に推進する仕組みについて (伊賀市まちづくりラウンドテーブル及びシティプロモーション会議)

シティプロモーションとIGABITO育成について

伊賀市のシティプロモーションとは

『誇れる伊賀市』『選ばれる伊賀市』をテーマに、「まち全体のブランド化」「IGABITO(伊賀びと)育成」「情報発信」を市民が主体的に推進するもの。

目指す姿

定住人口及び交流人口の増加を実現し地域経済の活性化を目指す。また、シティプロモーションによって『誇れる伊賀市』『選ばれる伊賀市』の実現を目指す。

IGAMONO(伊賀者)とは

自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識、実行力を持った若者。

目指す姿

地域の担い手である若者たちが、伊賀市に住み、住み続けることで、持続可能なまちづくりを市民が主体的に推進する。

IGABITO(伊賀びと)育成を含む、
シティプロモーションを継続的に推進する仕組みの構築が必要

伊賀市まちづくりラウンドテーブルの目的

“誇れる伊賀市”、“選ばれる伊賀市”、“住みたい伊賀”を実現するために市民及び伊賀出身者が主体となって
必要な取り組みを検討する

ポイント

市民
生の声

伊賀
出身者

若者の
コミュニティ

- 市民の声や考えを集める。
- 市外在住の伊賀出身の参加者も募集。若者同士の世代毎のコミュニティを形成することで結束力の強化、Uターンを促進する。

シティプロモーション会議の目的

ラウンドテーブルで出てきたアイデアの実現に向け、
実施主体を明確にしたうえで、ヒト・モノ・カネを手当てる

ポイント

実施主体
決定

具体化

- 次年度以降に実施すべき事業を検討し、担当原課と実施主体とのマッチングを行い、実施すべき事業の実施主体を明確にする。

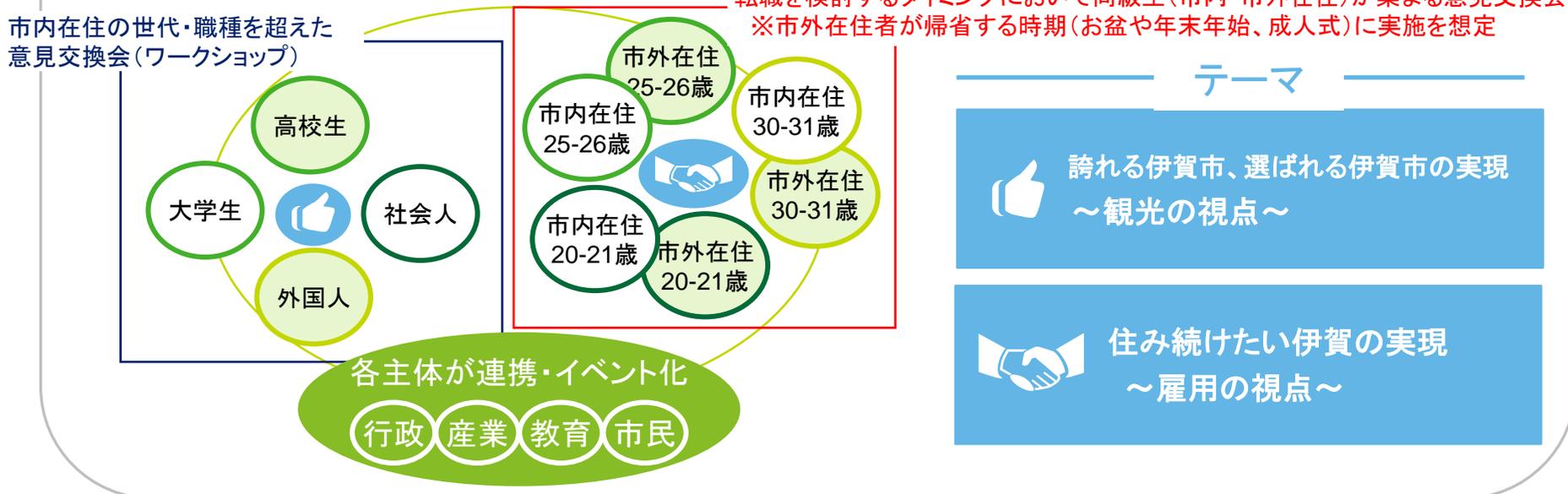
「観光」と「雇用」の視点から、“誇れる伊賀市”、“選ばれる伊賀市”、“住み続けたい伊賀”の実現に向けて、やるべきことを市民(出身者含む)が検討します

伊賀市まちづくりラウンドテーブル及びシティプロモーション会議の内容(イメージ)

平成29年度「伊賀市まちづくりラウンドテーブル」(案)

- テーマ: 観光客に満足してもらうために私たちができること(仮)
伊賀の担い手を増やすために私たちができること(仮)
- 対象: 高校生(20名程度)、大学生(10名程度)、社会人(20名程度)、外国人(10名程度)、同級生(20歳、25歳、30歳(各15名程度))
- 日時: 秋・冬の年2回

市内在住の世代・職種を超えた
意見交換会(ワークショップ)



平成29年度「シティプロモーション会議」

- 事務局: 企画振興部総合政策課
- 参加者: 市担当課、関係団体・企業、教育機関等
- 実施内容: ラウンドテーブルにて提案された事業案と事業実施主体のマッチング

シティプロモーションを推進していくためには、市民の声や考えを反映させる仕組み（事業実現の仕組み）が必要だと考えます

ラウンドテーブル及びシティプロモーション会議を実現するための仕組み(1/2)

凡例：
 ● ラウンドテーブル
 ● シティプロモーション会議

